

※H22年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

市長が提出した健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員が関係職員の説明を聴取し、適正であるかの審査を受け報告されたもの。



Q 昨年度の本市の財政状況は良好であるという事であるが、合併算定替えの特例措置期間終了となる平成26年度以降、地方交付税減額の推移は。

A 平成26年度1割(約2億1千万円)減、平成27年度3割(約6億3千万円)減、平成28年度5割(約10億5千万円)減、平成29年度7割(約14億7千万円)減、平成30年度9割(18億9千万円)減、平成31年度以降は約21億円余りの普通交付税が減額となる見込み。



豆知識 **地方交付税**…地方公共団体の必要な財源を保障するために、国から出される資金。財源不足額から算定される普通交付税と、災害時などに交付される特別交付税がある。



こんなことを決めました。

※附属機関設置条例の一部改正

市長の附属機関として「吉崎市地域福祉計画策定委員会」、教育委員会の附属機関として「吉崎市小・中学校の学校給食における食物アレルギー対策委員会」を設置。



Q 吉崎市地域福祉計画策定委員会の委員の任務と構成人員、またその報酬の予算措置はしているか。

A 市民や関係団体等の意見を福祉サービスに反映させる。構成は15名以内とし、医師会・民生委員会・公民館連絡協議会・老人クラブ・社協等の代表者を予定している。報酬については当初予算にて委員会4回分として計上していたが、附属機関として条例改正の必要があるという事で、今議会では条例改正のみ。

※武生水A辺地(変更)、武生水C辺地(変更)、渡良B辺地(変更)、原島辺地、勝本辺地、東可須辺地、立石辺地、本宮辺地、諸吉辺地、仲・大石辺地、芦辺浦辺地、大左右・中山辺地、瀬戸浦辺地及び石田辺地に係る総合整備計画の策定について

辺地事業債を活用するため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政措置を計画したものの。



Q 各地区消防団の小型動力ポンプの更新をされるが耐用年数によるものか。この判断は誰がどこでするものか。

A 消防団の意見、専門業者による定期点検や修理状況を見て消防本部で決める。

Q 下水処理事業の場所と事業内容、住民との協議について。

A 芦辺町諸吉東触の市営吉ヶ久保団地一体と、大石地区の芦辺漁港埋立地域～大黒屋建材店～大石バス停～芦辺保育所一帯。漁業集落環境整備事業での下水道整備工事等。地元住民から77%の下水道推進の要望がある。



豆知識 **辺地事業債**…辺地(山間部や離島のへき地)と都市の間で住民の生活文化水準の格差を無くすための、公共施設の整備等に対する地方債(資金借入)で、償還期間は10年以内。

※H23年度一般会計補正予算(第5号) 5億2千738万6千円 追加

◆公共施設フリースポット設置事業 152万3千円

市内公共施設にフリースポットを整備するための設置費用と通信料。



Q フリースポットの設置場所は。

A 市役所4庁舎、郷ノ浦・芦辺・石田フェリーターミナル、空港ターミナル、沓岐文化ホール、勝本地区公民館、芦辺離島開発センター、イルカパーク、猿岩物産館の市内13カ所。



フリースポット…携帯端末等から無線を利用してインターネットに無料で接続できる公共空間のこと。

どえーな 補正予算 のあと？



このステッカーのある場所ではインターネットが使えます。



フリースポット無線LANルーター

◆海岸漂着物地域対策推進事業 412万2千円



Q 全額が県の補助金であるが、事業内容は。

A 海岸への漂着物が非常に多く補助金の増額を申し入れたもので、船を利用した海岸からの撤去作業。

◆農地及び農業用施設災害復旧事業 1,194万3千円



豪雨による農地災害(石田町)

今年6月10日～12日の豪雨災害による、農地と農道・用水路等の農業用施設の災害復旧費。

◆コミュニティ助成事業 600万円



Q 今回コミュニティ事業の対象となった団体と内容は。

A 郷ノ浦元居青年会及び、郷ノ浦片原南部自治公民館のイベント用備品購入、勝本片山触公民館自治防災組織の防災備品購入。

◆体育設備施設管理費 290万円

市内体育施設(大谷公園・B&G海洋センター・芦辺ふれあい広場・青嶋公園・石田ふれあいの森)に自動体外式除細動器「AED」の設置と、大谷公園、B&G海洋センターの放送設備等の修繕。

◆小学校耐震工事設計 600万円

瀬戸小学校、那賀小学校校舎の耐震工事設計業務費。

◆中学校耐震工事設計 500万円

郷ノ浦中学校校舎の耐震工事設計業務費。



AEDが救急救命の一躍となります。

◆不動産鑑定委託料 162万9千円



Q どういった不動産を鑑定するのか。

A 郷ノ浦町の旧武生水保育所跡地、古城倉庫の建物敷地、建設業協会前の宅地及び雑種地、勝本町の旧ヨーガの里建物敷地と隣接のグラウンドを鑑定し、公募による売却を行う予定。



不動産鑑定される沓岐警察署裏の旧武生水保育所跡地



勝本地区公民館 2階の壊れた空調機器

◆公民館管理費 820万円

勝本地区公民館空調機修繕、沓岐文化ホール非常用発電装置修繕、沓岐西部開発センター浄化槽修繕費。



勝本地区公民館の空調修繕は新規に取り替えるという事であるが、建物自体、築50年が経過しており老朽が進んでいる。災害時避難場所でもあり早急に建替えを望む。

※特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号) 11億1,239万7千円減額

◆消防施設等改修事業費 1,470万円

パッケージ型自動消火設備設置工事費

◆施設整備基金積立金 2,000万円

◆特養ホーム建設事業費 11億4千856万5千円を減額

東日本大震災を受けて事業計画を見直すため、今年度の建設を中止。



住吉第4水源施設

※簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 271万4千円追加

◆簡易水道施設改修事業費 227万円

芦辺町住吉第4水源水中ポンプ改修工事、水道量水器及び水道管路管理システム用パソコン購入。

※国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1,394万3千円追加
※介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	404万5千円減額
※三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	7万5千円追加
※農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)	852万4千円追加
※病院事業会計補正予算(第1号)	
収益的収支	1億6,266万8千円減額
収益的支出	4,125万9千円減額
資本的収入	147万円増額
資本的支出	294万円増額





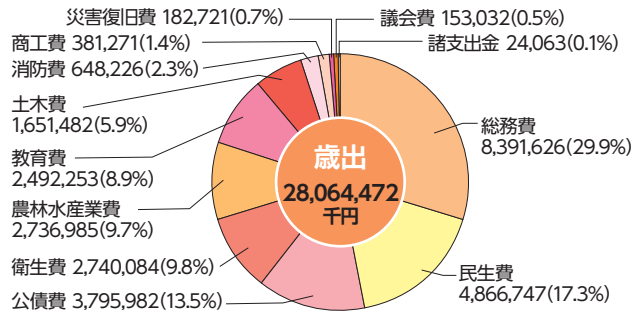
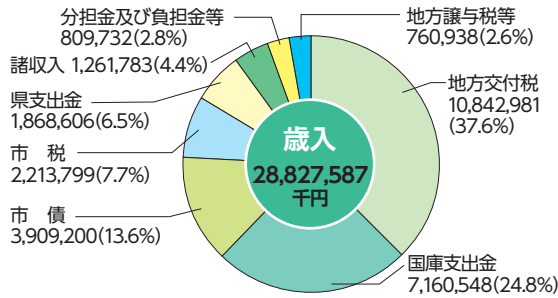
※平成22年度 各会計決算認定

H22年度 1年間にぎや市が使ったお金

H22年度に市に入ったお金の合計額は、**388億3千248万円**。

ぎや市が使ったお金は
一般会計と特別会計を合わせた額の**379億5千133万円**。

●一般会計の内訳 (単位：千円)



平成 22 年度決算額一覧表

(単位：円)

区分	歳入	歳出	差引	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	28,827,587,160	28,064,472,431	763,114,729	379,561,659	383,553,070
国民健康保険事業特別会計	4,659,615,481	4,649,611,565	10,003,916		10,003,916
老人保健事業特別会計	482,645	7	482,638		482,638
後期高齢者医療事業特別会計	285,411,926	283,780,176	1,631,750		1,631,750
介護保険事業特別会計	2,887,712,694	2,886,233,238	1,479,456		1,479,456
簡易水道事業特別会計	938,921,145	935,454,406	3,466,739	58,000	3,408,739
下水道事業特別会計	450,539,606	450,477,086	62,520		62,520
特別養護老人ホーム事業特別会計	536,499,299	443,697,881	92,801,418	20,648,000	72,153,418
三島航路事業特別会計	119,595,551	119,595,551	0		0
農業機械銀行特別会計	126,115,722	118,007,811	8,107,911		8,107,911
特別会計 合計	10,004,894,069	9,886,857,721	118,036,348	20,706,000	97,330,348
一般会計+特別会計 合計	38,832,481,229	37,951,330,152	881,151,077	400,267,659	480,883,418

公営企業分

病院事業会計 (単位：円)

ぎや市民病院	収入	支出
収益的	2,324,506,015	2,524,403,738
資本的	120,783,000	189,219,710
かたばる病院	収入	支出
収益的	403,327,232	368,255,289
資本的	0	0
合計	収入	支出
収益的	2,727,833,247	2,892,659,027
資本的	120,783,000	189,219,710

水道事業会計 (単位：円)

	収入	支出	翌年度繰越額
収益的	163,438,045	130,895,152	0
資本的	3,335,422	50,594,725	45,855,950

決算特別委員会報告

委員長：町田 光浩
副委員長：深見 義輝
委員：全議員
(議長：オブザーバー)

平成22年度一般会計歳入歳出決算を認定した。

〈主な質疑〉

Q 不納欠損処分の内容について。

A 死亡・行方不明等で徴収不可能なもの。その他については時効中断措置等で引き続き対応している。

Q 税徴収の観点から、ナンバープレート未装着のトラクター等へ指導強化を。

A 未届けについては強力に呼びかけをしていく。関係業者への協力を要請していく。

Q 焼却場の委託費は規模に對比して大きく開きがある。

A 施設ごとの委託契約である。今後は施設集約により一元化。

Q 電動自転車の実績と今後の方針は。

A 観光協会の方で郷ノ浦港、石田フェリーターミナルに配置されているが、自転車を使った観光地巡りという利用実績は少ない。観光客等に目立つような啓蒙を図る。